

# 体感型コンサート

～オーケストラで旅する名曲の世界～

みやざきの舞台芸術シリーズ第3弾は、  
おとなもこどもも、赤ちゃんも楽しめる「体感型コンサート」。  
本公演を企画され、構成・編曲を手がける服部響さん、  
そして出演者のかみもと千春さんにお話を伺いました。



服部 韶さん



かみもと 千春さん

Q.「みやざきの舞台芸術シリーズ」に応募したきっかけは？

服部 子どもが生まれたのがきっかけのひとつですね。子どもとコンサートに行こうと思ったとき、小さい子が入れるコンサートは少なくて、あっても出演者が少ない。オーケストラによる色彩豊かな音楽を聴かせたい、と思うようになったんです。言葉も何も分らない0歳のころからオーケストラに触れられたらいいなって。

また、オーケストラって敷居が高いと感じている大人の方も多いですね。そこで、オーケストラやクラシックを気軽に楽しめる、大人も楽しめて小さいお子さんも楽しめる演奏会をしたいって考えるようになりました。ただ、オーケストラは出演者の数が多いので、みやざきの舞台芸術シリーズの助成を活用しながらできればと思い、今回のコンサートを企画・応募しました。

Q.タイトルの“体感型”にはどんな思いが？

服部 一方通行ではないコンサートにしたいと考えています。オーケストラの演奏やクラシックを聴き慣れていない人が、ただ聴かされている、という状態になるのはもったいない。出演者とお客様の間にコミュニケーションが生まれる、そんな状態にしたい。音楽って、聴く耳だけじゃなくて、からだの反応があって当然だと思うんです。視覚的に楽しんだり、ちょっと一緒に体を動かしたくなったり。それで“体感型コンサート”ってタイトルにしました。

かみもと クラシックって、背筋をぴしっとして聴かなきゃいけないのかなって印象ありますよね。打合せでは「こういう時、こう感じていいんだ

  
日高啓介さん よ、みたいなことが伝わるといいね」って話をしていて。例えば、サン=サーンスの「動物の謝肉祭」を聴いて、いろいろな動物が出てくるので一緒に体を動かしてみたり(笑)。出演者の日高啓介さんと一緒に「こう感じたから、こういうことやれたら面白いね」って。私も日高さんも役者なので、あまりクラシックに詳しい立場ではないから、橋渡し的なことができたらいいなって。

服部 かみもとさんも音楽をされていて、日高さんもお芝居のなかで歌ったりされているので、音楽に親しみのある方々だと思います。だからこそ、クラシックの世界とクラシックに聴きなじみのない方々との間で、橋渡しをしていただけるのではと思っています。

かみもと 「これして怒られない?」「ここで踊ってもいい?」って打合せで聞いたりしています(笑)。



## プログラム

サン=サーンス：「動物の謝肉祭」より  
ベートーヴェン：交響曲第5番「運命」より第1楽章  
ビゼー：オペラ「カルメン」より前奏曲  
ブラームス：ハンガリー舞曲第5番 など

服部 そうですね(笑)。クラシックって、聴いている側も自由に反応していいと思うんですよね。演奏する側と聴く側の壁、ステージと客席を隔てる境目をなくして、できるだけ自由な空間にしたい。会場がイベントホールなので、楽器を壊したりしない子であれば、演奏中にオーケストラの中に入ってもいいなと思っています。

Q.橋渡しのためにどんな“しきけ”が？



かみもと まだアイデア段階ですが、例えばカルメンの前奏曲でシンバルを叩きたい(笑)。オーケストラの演奏に入っていくなんて普段しないから、おもちゃとか身近なもので入っていったら面白いかなと考えています。あと、「運命」のジャジャジャジャーンに合わせて、絶望的なシチュエーションを演じるとか。そういう楽しみ方もできるよねって。

服部 感じ方に正解はないと思っています。お客様には120%で“体感”してもらいたい。演奏で聴覚を、そして役者さんのパフォーマンスで視覚と触覚を楽しんでもらう。それに加えて、照明をこだわろうと考えています。クラシックの演奏会は照明がシンプルだけど、一人だけ照明があたると、雰囲気が一変する、受け取り方も変わるんじゃないかなと。そして、今回21人の演奏家が、21人分の音を届けるので、それをお客さんがどう受け取るのか、子どもたちがどう反応するか、そういうのも楽しみですね。

Q.お客様にメッセージを。

かみもと 今、私の中で「体感」がすごいテーマなんです。感覚・感触って、自分だけのもの。だけど、最近の生活はそれが失われていくように感じています。このコンサートで、そういった自分の感覚・感触をもう一度味わう、お客様とそれらと一緒に味わえる時間が過ごせたら良いなと思っています。大人の方も、ぜひ一人でも来てほしいなって思います。

服部 子ども向けというわけではなく、大人も子どももフィルターのない状態で体感する演奏会にしたいと考えています。「誰も取りこぼさない」「分断されない」ってことが、私の最近のテーマとしてあって、非常に大事なことだと思っているので、そこにいるみんなで体感できる、心の分断もない演奏会になったらいいなと思っています。ぜひ“体感”しにお越しいただければと思います。

## 公演情報

2026  
2/14(土)・15(日)

'25みやざきの舞台芸術シリーズⅢ

### 体感型コンサート

～オーケストラで旅する名曲の世界～  
両日とも14:00開演

会場：イベントホール

構成・編曲：服部 韶

指揮：土田 浩

出演：かみもと千春(劇団こふく劇場)、日高啓介

演奏：Nova Harmonia(ノヴァ・ハルモニア)

